

【高等学校用】

令和4年度学校評価結果

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

学校名 佐賀県立有田工業高等学校

1 前年度 評価結果の概要
・前年度も引き続きコロナ禍での学校運営を余儀なくされたが、校務の精選や行事の必要性などを再認識することができ、学校全体をスリム化することで本来の教育活動を見直すきっかけとなった。

2 学校教育目標
勉情「愛し」「創り」「光れ」を礎とした自立型人間の育成
「愛し」：自分を大切に、他人を思いやる 「創り」：新しいことに積極的に挑戦していく 「光れ」：一人ひとりが社会に貢献できる人間になる

3 本年度の重点目標
・新学習指導要領実施に対応した教員の授業力向上と学習評価の工夫、生徒の主体的な学びの推進
・「SAGAコラボレーション・スクール」重点校としての、有田町との連携協働による特色ある教育活動の充実と地域振興への貢献
・県内唯一無二のセラミック科とデザイン科の魅力発信の強化、全国募集の推進及び志願者数の増加

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目
評価項目 重点取組 成果指標(数値目標) 具体的取組 達成度(評価) 最終評価(実施結果)
●学力の向上
○新学習指導要領実施初年度における主体的な学びを重視した授業の推進
○高い志を持ち、自らの目標や進路実現に向けた資格・検定取得の奨励

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目
評価項目 重点取組内容 成果指標(数値目標) 具体的取組 達成度(評価) 最終評価(実施結果)
★SAGAコラボレーション・スクール重点校としての取組推進と学校魅力化の情報発信の工夫
○学校の魅力発信の強化と広報活動の充実

5 総合評価・次年度への展望
・コロナ感染拡大期には学校行事の実施方法の変更や中止等を余儀なくされたが、徐々に平時の学校運営にもどりつつある。デザイン科・セラミック科展、有田陶器市ボランティアなどの地域の様々なイベントも実施され、学校外での教育活動も回復してきている。